

I 令和元年度 総合政策部の施策

令和元年度 総合政策部の施策

命名150年の大きな節目を経て、令和という新たな時代を迎えた北海道においては、全国を上回るスピードで人口減少が進行し、このままでは地域社会の存続が危ぶまれる一方、情報技術の革新や海外との交流拡大など、社会・経済が大きく変化しています。

こうした中、将来にわたって活力に満ちた北海道を築いていくためには、地域の資源や魅力を最大限に活かし、多様な主体の知恵と力を結集して、様々な課題の解決に取り組んでいくことが必要です。

総合政策部では、各部との連携を密にし、「北海道への想いをつなげる豊かな地域づくり」、「多様性と可能性を活かした確かな未来づくり」に向けて取り組んでいきます。

- 道の重要政策の総合的な企画・調整を行うとともに、「北海道創生総合戦略」や「北海道強靱化計画」、「北海道 SDGs 推進ビジョン」等の着実な推進、土地・水対策や総合教育の推進等により、北海道のめざす姿「輝きつづける北海道」の実現を目指します。
- 政策の企画・立案の基礎となる各種統計や道政に対する要望等を把握するとともに、道政への理解や参加を促進するため、道政情報等の積極的な発信に取り組むなど、開かれた道政の推進を目指します。
- 「世界の中の北海道」という視点に立って、姉妹友好提携地域や欧露部を含めたロシア等との交流を拡大するとともに、多文化共生社会の実現に向け、外国人の受入環境の整備や理解促進のための普及啓発、情報発信の多言語化に取り組むなど、国際社会での連携・交流の拡大を目指します。
- ICTの利活用、総合交通対策や交通・物流ネットワークの構築、航空路線の誘致や道内空港の運営に係る民間委託を推進するとともに、地方独立行政法人北海道立総合研究機構の運営支援等により、安心して暮らせる基盤・環境の整備や経済の活性化・自立化に寄与することを目指します。
- 「ほっかいどう応援団会議」の結成、振興局を拠点とした地域づくり、移住・定住や集落対策、地方分権の推進、市町村行財政の効率的な執行に向けた助言や広域連携の促進など、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を目指します。